

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11093	3	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	終末期看護援助論 (End of Life Care)				
担当教員名	○櫻井智穂子／谷本真理子／山崎千寿子 阿部桃子／大金ひろみ／原田竜三／富岡晶子				
授業の概要及び到達目標					
<p>[概要]</p> <p>本科目は、人が加齢や疾患によって終末期に至る経過を一連のものとして理解し、終末期（エンドオブライフ）における患者とその家族のQOLの維持向上のための援助の基盤となる考え方・基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。</p> <p>授業内容は、あらゆる発達段階、ケアの場にある人が、「自らの死」に対峙して生きる姿や、死にゆく過程における患者と家族の苦痛・苦悩、多職種チームにおける看護の果たすべき役割、終末期ケアにおける今日的課題について、事例を基に展開する。</p> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エンドオブライフを生きる人の病状、苦痛や苦悩、生活背景、生きる価値や希望、他者との関係の築き方等の個別性・多様性の理解を深め、個別ケアを導くことができる。 2. エンドオブライフを生きる患者を取り巻く家族、社会を全体としてとらえ、療養の場（在宅、入院など）の相違を踏まえて、患者にとっての最善を導くアプローチを理解できる。 3. 終末期の事例検討を通して、自己の価値観を意識化し、患者にとっての最善のケアを導く方法を理解できる。 4. 学生自身による学習概要の俯瞰により、学習内容の理解を深め、今後の自己の学習課題を明確にし、説明できる。 5. 学生自身の「死」を巡る経験等に基づき自身の死生観を意識化し、死に向き合う患者にかかわる自己の態度の醸成に向け、エンドオブライフケアに対する考えを表現できる。 					
準備学習等					
<p>本講義は、あらゆる発達段階、そしてケアの場にある人の、病や人生の延長線上にある「自らの死」に向き合う過程において必要とされる看護支援について学ぶため、既習の疾病治療論および看護援助論等の授業資料を活用し、そこで学んだ、病をもつ人々の受ける治療や、病によって患者と家族が経験する全人的苦痛や生きることを支える看護援助について復習すること。事前課題は各講義で別途提示する。</p> <p>科目全体を通して予習・復習に必要な時間は60時間です。</p>					
成績評価の方法	<p>【ミニレポート】講義1点×11回、演習4点（配点15点） 提出されない場合は欠席とみなす。</p> <p>【レポート課題】1回（配点25点）</p> <p>【筆記試験】講義終了後（第12回） 60点</p>				

テキスト	特に指示しない
参考図書	「エンドオブライフ・ケア終末期の臨床指針」(K. K. キューブラ、P. H. ベリー、D. E. ハイドリッヒ著、鳥羽研二監訳、医学書院、2004) ※ 「がん緩和ケアガイドブック」(日本医師会、青海社、2010) ※ 「非がん患者の緩和ケア」(平原佐斗司、南山堂、2011)
備考	本科目の単位取得は、急性期・慢性期看護学実習の前提条件となっています。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。 演習で取り組んだ課題に対するフィードバックは授業の中で行います。
授 業 計 画	
<p><エンドオブライフケア総論></p> <p>第1回：導入：終末期看護援助論の目的、科目構成 エンドオブライフケア総論① (講義：櫻井)</p> <p>第2回：エンドオブライフケア総論② (講義：櫻井)</p> <p>第3回：終末期の病態 (講義：緩和ケア／エンドオブライフケア専門医師・櫻井)</p> <p><死にゆく軌跡の特徴とエンドオブライフケア></p> <p>第4回：がんとともに生きる人のエンドオブライフケア (講義：櫻井)</p> <p>第5回：慢性呼吸器疾患とともに生きる人のエンドオブライフケア (講義：谷本)</p> <p>第6回：神経難病とともに生きる人のエンドオブライフケア (講義：山崎)</p> <p><発達段階とエンドオブライフケア></p> <p>第7回：老年期にある人とその家族のエンドオブライフケア (講義：阿部)</p> <p>第8回：小児期にある人とその家族のエンドオブライフケア (講義：富岡)</p> <p><ケアの場とエンドオブライフケア></p> <p>第9回：在宅で療養する人のエンドオブライフケア (講義：大金)</p> <p>第10回：救急医療の場におけるエンドオブライフケア (講義：原田)</p> <p><実践におけるエンドオブライフケア></p> <p>第11回： エンドオブライフにおけるチーム活動の実際 (講義：緩和ケア認定看護師・櫻井)</p> <p>第12回：筆記試験 (櫻井・谷本・山崎・阿部・大金・原田・富岡)</p> <p><事例で考えるエンドオブライフケア></p> <p>第13回：望む生き方の実現を支える看護① (演習：櫻井・谷本・山崎・阿部・大金・原田・富岡)</p> <p>第14回：望む生き方の実現を支える看護② (演習：櫻井・谷本・山崎・阿部・大金・原田・富岡)</p> <p>第15回：望む生き方の実現を支える看護③ (演習：櫻井・谷本・山崎・阿部・大金・原田・富岡)</p>	